

Handsome



自分自身の中の壁を越える為に

Handsome CONTENTS April 2013 No.294

TOPICS 3月オープン例会開催 講演「生き抜く力を身につける」野々村直通氏

《特集》平成24年度県青中ビジネス交流事業 企業交流会・講演会／松江YEG交流事業「我々とはとんでもない「お宝」の上に住んでいる」多羅尾整治氏

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

3月オープン例会開催「次代に生きる力と本当の教育を！」

日時：平成25年3月14日(木) 場所：米子コンベンションセンタービッグシップ2F国際会議室 担当：教育対策検討委員会

今年初のオープン例会が米子コンベンションセンターにて開催されました。河津会長は冒頭の挨拶で、「残り3ヶ月半、今年度のスローガンでもある「挑戦」をし続けて欲しい」、「現在この不景気な中でも成長し続けている企業は、現状に満足せず常に改善を行い続ける前向きな挑戦をしている。様々なことに挑戦し続けることが各個人の成長、企業の成長につながる。今後とも何事にも挑戦し続けてほしい」と熱く語られました。



日に合わせた竹島に関する特別展示があり、そこでは委員長の今は亡き祖父の事も紹介されていたそうです。その資料室の写真や資料を中心に、濱田家の歴史を交え、分かり易く本当に身近な所から、竹島の問題をご説明いただきました。



続いてオープン例会として一般の方にもご来場頂き、『生き抜く力を身につける』という演題で、開星高校野球部元監督 野々村直通氏よりご講演を頂きました。講演の内容が、今必要とされた問題視されていることだけに一般の方も多く、185名の一般来場者がありました。現在、いじめ問題・体罰問題等様々な問題がある中、これまでその教育現場で、常に体でぶつかってこられた実体験をもとに話していただきました。野々村氏はまず、言ってもわからない生徒がいた場合どうすればいいのか？が教師に対し、明示されていない現状に触れられました。そして理屈でなく『な

らぬ事はならぬ』をわからせる為に叱り、それが結果として子どもの利益(気付かせてくれてありがとう)となれば良いのであって、その為の責任ある体罰なら指導の一環として必要ではないかと話されました。またこの体罰問題により、教師が体罰と思われるのを気にして叱るべき所を見て見ぬふりをするようになる事、またもっとも危険な事として無関心になる事を危惧しておられました。そうなることからの教育現場は絶対にダメになるとも訴えておられました。

そして最後は演題にもあります、これからは『生き抜くために必要な事』として、まずは『想像力』。そうなりたい、またそうなるしまった自分を思い描く事。そして『情熱』。信念をもって俺なら出来る！！自信を持ち最後までやりぬく強い思いを持つ事。そして情熱を持って『行動』する事が必要である、と締めくくられました。

これからの日本の教育に対し、難しい問題ではありますが、子を持つ我々の世代において、体罰が必ずしも悪かどうか、非常に考えさせられる1日となりました。

(記事：山崎)



続いての委員長タイムでは、道州制問題検討委員会 濱田委員長より、「意外と身近な竹島問題」というテーマで話されました。島根県庁横の竹島資料室では、2月22日の竹島の



例会を終えて… 教育対策検討委員会 委員長 白石 博昭



11月頃の講師選定から3月例会まであっという間の5か月でした。皆様から「よかった」と声をかけて頂き、正直ほっとしている所です。野々村先生には、委員会テーマの『生き抜く力を身につける』をそのまま例会タイトルにして頂きました。講演内容についてはもちろん先生にお任せでしたが、委員会メンバーの熱い気持ちは事前に伝えておきました。

まず『想像力』で、こうなりたいではなく本気でそうなった自分を想像し、とにかく熱い『情熱』をもち、最後に『実践』してはじめて夢がかなう。『愛』の反対は『憎しみ』ではなく『無関心』、『ダメなものはダメ』、などの言葉もいただきました。

これから教育対策検討委員会として最後の仕上げにかかります。昨年7月より教育について勉強してまいりました。私たちのやりたい事というより、我々経済団体として『今』やらなければならない事を『提言』します。このオープン例会で頂いた勢いをそのままに、最後まで委員会メンバーとともに駆け抜けます。

最後に、協賛頂いた企業の方々・多数参加いただいたOB会員を始め会員企業・教育関係者・関連団体の方々に熱く御礼申し上げます。

鳥取県中小企業青年中央会ビジネス交流事業

日時：平成25年3月30日（土） 場所：米子コンベンションセンタービッグシップ

鳥取県中小企業青年中央会(以下 県青中)の目玉事業であるビジネス交流事業が開催された。このイベントはビジネスに役立つものとして2部構成で企画され、一部が企業PRと企業展示、二部が講演会とされた。

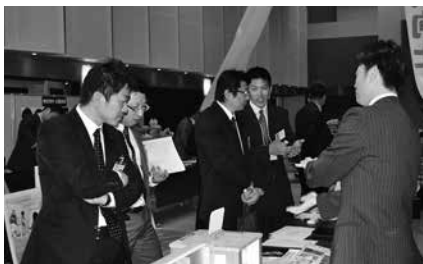
冒頭北口県会長から、「今年度はテーマを『同志一丸』とし、各地区のテーマ・スローガンを踏まえ『ビジネス』をテーマとした。また各地区でたくさんの経験をされたOBを講師にお招きし、その講演で学んだ事を仕事に役立ててほしい」と語られた。

一部では、まず企業PRが行われた。各地区から選ばれたプレゼンター17名が、自社商品の一部動画や写真を用いながらプレゼンを行った。

一番目に西部(有)足立ふとん店の足立駿会員が、『合わない寝具による睡眠中のストレス』に絡めた自社寝具をPR。

中部 打吹商事(株)の宮協会員により「天女伝説に登場する『お倉(くら)とお吉(よし)』をキャラクターに起用してブロンズ像を設置している。これに触ると宝くじが当選するなど運氣があがる」と来店を促した。東部(株)Destiny 合田会員より、『『都会のクオリティを地方でも』をコンセプトとし、各店舗の個性づくりをしている』と、お客様への接待の流れをわかりやすく画像で説明し、興味を掻き立てた。

次の企業展示では、32社が商品・サービスをPRし、手帳からでは伝わらない企業の商材説明に、熱心に聞き入っていた。最先端の蛍光灯型LEDや住宅の模型、非常食やカラオケ器具などが展示され盛況だった。



二部で演題を『地域に根差した企業づくり』とし、各地区より3名のOB会員をお招きした。

最初に中部(株)エナテクス 企画・設計室室長

牧野健治OBが登壇され、現在の目玉であるメガソーラー事業を中心に、収益と共に地域雇用を重視した事業計画や防災無線のデジタル化に向けた自社システムの開発などを説明され、「本業に関係なくやる気さえあれば協力したい」とビジネスコラボの提案もされた。

続いて東部の(有)石野石材工業所 代表取締役 平井義一OBが登壇され、『会社の説明と中央会への想い』について語られた。「中央会は挑戦の場である。入会するならってっぺん(会長)を目指そうと思った。社交辞令ではなく本音で語り合うから本当の人材交流ができる。会長時代のテーマを『人間力』としたが、人の心に働きかけ、人を動かす力と捉えた。会員に本音で語りかけたおかげで自分は会長になれた」とされた。

最後に、西部(株)みどり商事 専務取締役 市位清明OBが登壇された。冒頭、「県青中の統一スローガン『時代に挑み、次代

を創る』を県会長時代に制定したが、当時は地区ごとにライバル意識がありなかなか難航した。このことを切っ掛けに、会員の中央会に対する忠誠心が生まれたんじゃないかと思う」と語られた。またビジネスについては「県外資本の大手ディスカウントやドラッグストアの進出が相次いでいるが、この脅威は小売業界だけではない。会員同士でコミュニケーションを取り、OBも使いながら密接な関係を築き上げていくことが大事ではないか」と締められた。

西部 河津会長より謝辞が述べられ、143名の会員が参加したビジネス交流は閉幕となった。

西部 河津会長より謝辞が述べられ、143名の会員が参加したビジネス交流は閉幕となった。



その後会場をレストラン ル・ポルトに移し、懇親会が開催された。そこでは地区対向のいきビール大会が開かれ、(東部チームと同点ではあったがレディファーストとして)西部レディースが優勝した。残念ながら最下位となった中部 和田会長には、『センブリ茶』がふるまわれた。渋いとか苦いとかを超越したその味に会長も悶絶された。またそのお茶は会員にもふるまわれ、地区の垣根を越えた交流の一端を担った。

当日は平井OBの誕生日(の前日)ということもあり、その後の3次会にてパースデーケーキとF-1の表彰式でも使われる巨大なシャンパンが、有志によりプレゼントされるサプライズもあり、盛況のうちに幕を閉じた。(記事：生田・桑本)

ビジネス交流事業を終えて… 鳥取県中小企業青年中央会 会長 北口 智明



今年の県の活動はより実のある事業を目指し、例年行われている経営研修会やスポーツ交流をやめ、大きな目玉としてビジネス交流事業を開催させていただきました。

初めての試みでしたのでいい面・悪い面もあるかと思いますが、私たち県出向が持てる力を結集させた結果です。地区例会の視察研修事業共々、会員の皆様にはいろいろな事を学び、また地区や自社へ持ち帰って役立てていただければ幸いです。

年度末の多忙な時期に講師を快く受けてくださった3名のOBの方々を始め企業PR・展示をして頂いた会員、参加して頂いた全ての会員の皆様へ。そして臨時委員会を多数行い、全精力を傾けてくれた県出向に感謝申し上げます。



中央会OBを訪ねて

（株）山陰如月 代表取締役社長
景山周司OB（第36期ご卒会）



今月は第36期ご卒会、景山周司OBを訪ね、近況と中央会での思い出について語っていただきました。

景山OBは、現役会員当時は、（株）きさらぎの所属でしたが、昨年10月に同社が地元素材を使った新たな土産物の開発や、当地の隠れた逸品の販売を目的に設立した（株）山陰如月の代表取締役社長に就任されています。

現在は、昨年開催された「第4回みんなで選ぶ境港の水産加工大賞」で優秀賞受賞の境港産紅ズワイ蟹を使った「蟹饅頭」の販路拡大に全国を飛び回る傍ら、新製品の「大山ルビー豚角煮饅頭（仮称）」の販売準備、鬼太郎グッズの開発や販売を通じて培われたノウハウを活かした、地元企業の商品の開発、販売のコーディネートを手がけられています。

続いて6年間過ごされた中央会での思い出について伺いました。入会2年目という超スピードで、河津委員長の後を受けメディアコミュニケーション委員会の委員長を務められた32期のことが最も印象深かったそうです。ハンサム発行や中央会TV番組の制作などの委員会活動で色々と大変だったもの

の、委員会メンバーを信じて業務を任せたと期待以上の成果で応えてもらえたそうです。無事に一年間を全うできた時の達成感は今でも忘れられず、大変貴重な経験だったとのことでした。

最後に現役会員へのメッセージとして「中央会では例会や委員会の活動に加え、アフターの懇親会等にも積極的に参加し、ひとりでも多くの会員と話をしていくことが結果的に仕事・プライベートでの人脈形成につながるの大事にして欲しい」、「中央会在籍中には、是非とも「委員長」を経験し、チームの目標達成のために、組織をまとめていくことを学んで欲しい」とのメッセージをいただきました。

また仕事の面では、蟹饅頭のPR・販路拡大のため、出張実演販売もされているそうなので、イベント等を検討の際はお気軽にご相談くださいとのことでした。

お忙しい中、取材を受けていただきました景山OB、ありがとうございました。ますますのご活躍を祈念いたしております。（記事：徳尾）



平成24年度松江商工会議所青年部交流事業

平成25年3月19日（火）、米子市福祉社会保健総合センター『ふれあいの里』に於いて、松江商工会議所青年部（以下略：松江YEG）と鳥取県西部中小企業青年中央会（以下：西部青年中央会）による交流事業が開催された。平成23年に始まった当交流事業も、今年度は松江YEGを西部青年中央会側がお招きする番である。



とんでもない「お宝」の上に住んでいる』を拝聴した。講演終了後に両団体混在のグループに分れ、観光資源としての有効的な活用、PR方法を検証するグループディスカッションを行い、成果を披露した。どの様な会であったのかは須山副会長の謝辞に集約されているので、ここに引用したい。

「講演の感想を一言でいうなら『面白かった』です。この面白いということは興味を持つ上で非常に大事なことです。共に山陰に根ざす松江YEGと西部青年中央会は、先生の御講演により改めてこの地域のすばらしさを知る事が出来たと思えます。この受け取ったバトンは、責任を持って次の世代に伝えていきたいと思えます。」と締めくくられた。

山陰両県の二団体が交流するに相応しく、舞台を共通とする日本最古の歴史書『古事記』上巻を基に、実地検証で得た構想を著書にまとめ、現在も神話観光の企画・立案とツアーガイドの育成にご尽力しておられる《古代出雲大国研究会》代表多羅尾整治氏を講師にお招きし、講演『我々は



また両会の懇親会では、両会次年度会長同志による交流事業の継続が宣言された事も追記しておきたい。（記事：長谷川）

中央会TV制作班からのお知らせ

3月例会でご案内し、中海テレビ放送で3月25日・26日に放送されました《パーフェクト中央会》第1回、皆さんはもうご覧いただけましたでしょうか？

遅くなりましたが、中央会の「イマ」を知るのに役立てて頂こうと思制作しました。

ご覧になっていない方は、5月末までネット上に公開しています。会外の方にもご案内頂ければ幸いです。ぜひご覧ください。"http://p.tl/vlbc"を直接入力ねがいます。

（中央会TV制作班）

平成25年度会員手帳記載事項調査ご協力のお願い

メディアコミュニケーション委員会より、平成25年度会員手帳記載事項調査についてご連絡致します。

現役会員の皆様には3月の、OB会員の皆様には4月のハンサム送付便に、「平成25年度会員手帳作成についてのご連絡」A4版1枚の調査書を同封させて頂きました。

現役会員の締め切りを4月26日に、OB会員の締め切りを5月15日とさせて頂いております。ご返信は中央会事務局(0859-34-6441)までFAXでお送り下さい。

ご協力の程をよろしく申し上げます。

会長ぼろ!



いよいよ、今期も残り3ヶ月となりました。今期のスローガンの「挑戦」～自分自身の中の壁を越える為に～を実行されていますか?ぜひ、ひとつでも自分自身の中の壁に挑戦して、その壁を越え、キャパシティを広げて頂きたいと思えます。ちなみに私の挑戦は、下記のように設定して動いていますので、途中結果も合わせてご覧ください。

1. <西部青年中央会の会長職をしっかりとやり抜く>

皆様のご協力もあり、何とか今まで会長職を務めています。各事業もしっかりと取り組んで頂いており、非常に嬉しく感謝しております。残り3ヶ月、会長として気持ちを込めて、私なりに最後まで精一杯しっかりとやり抜きたいと思えます。

2. <所属会社の売上・前年比120%以上>

会長職をしたからといって、売上は下げたくない(特に部下に対して示しが付かない)。当然、仕事の方も精一杯しておりますが、現時点・前年比136%で推移しているので、何とかクリア出来そうです。

3. <会長職期間中にゴルフのスコア100を切る>

会長をすることになり、色々なお付き合いの関係でゴルフを始めました。初ゴルフ142でスタートし、今年の成績が、92、102、106、96、116、109ということで、全く安定せずスコアにバラつきがありますが、何とかクリア出来ました。かなり練習したので、正直嬉しく思っています。

3月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会

平成25年3月6日(水) 19:00～ 場所:味わいジャパン
議題/・役員会報告 ・中央会TV ・新入会員オリエンテーション
・39期会員手帳 ・その他

政治行政委員会

平成25年3月5日(火) 19:00～ 場所:米子コンベンションセンター
議題/・役員会報告 ・会員拡大 ・県との意見交換会
・その他

チャレンジ委員会

平成25年3月7日(木) 19:00～ 場所:ふれあいの里
議題/・役員会報告 ・4月例会打ち合わせ ・会員拡大
・その他

教育対策検討委員会

平成25年3月7日(木) 19:00～ 場所:米子ニューアーバンホテル
議題/・役員会報告 ・3月例会について ・会員拡大
・安来YEG交流会の件 ・その他

道州制問題検討委員会

平成25年3月7日(木) 19:00～ 場所:ふれあいの里
議題/・役員会報告 ・松江YEG交流会について
・道州制及び5月例会について ・その他

総務・40周年事業準備委員会

平成25年3月8日(金) 19:00～ 場所:アクシス
議題/・役員会報告 ・OB交流会について
・会員拡大について ・その他

お詫び

先月お届けしましたハンサム293号において記事中に2件の誤りがありました事をお知らせします。

2月例会開催…誤:鳥取県危機管理局危機対策課・情報課・危機管理・訓練担当 小林由己氏 → 正:鳥取県危機管理局危機対策課・情報課・危機管理・訓練担当 小椋由己氏
中央会徒然…誤:松田幸紀副会長 → 正:横山友樹監事
深くお詫び申し上げますと共に、今後の再発防止に最善を尽くして参りたいと思えます。

(メディアコミュニケーション委員会 委員長 長谷川貴久)

中央会徒然

岩田 剛 監事

稲盛和夫氏が日本航空の取締役をこの3月に退任される事となりました。

2010年に代表取締役会長に就任以来、様々な社内改革を断行され、2013年3月期も好決算の予測の中、後進に道を譲られるとのことでした。

先般の日経新聞2面に稲盛氏の日本航空再建の道筋が記載されていましたが、その中でとても印象的であったのは「おかしな数字は自然と目に飛び込んでくるものだ」とのお言葉。

毎週の取締役会ではA3用紙の報告書が数十枚提出される中、細やかな数字まで指摘、回答できない役員は叱責される。膨大な数字が並ぶ中、自然とおかしな数字は目に飛び込んでくる。「これが経営か。」と気づかされた役員の数々。

青年中央会の役員会でも、自社の経営資料でも自然とおかしな数字・表現が目には飛び込んでくるようなスキルを高めていきたいと感じた今日この頃。

個人的には、夕方の会議終了後、缶ビールとアタリメでざっくばらんに懇親を深められる稲盛氏のスタイルが理想です。

今月のNice Shot!



日時と場所: 3月19日(火)撮影場所:交流事業懇親会にて

タイトル:「すっごく仲良くなりました!」

コメント:タイトルは当会会員とYEG会員のツーショットを撮った時の発声である。このように友を得る事が、交流会の本懐である事を表す実に微笑ましい一枚だ。かくありたい。

4月役員会報告

4月役員会が平成25年4月2日(火)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。

- ・3月オープン例会報告の件
- ・4月例会開催の件
- ・5月例会開催の件
- ・その他

*なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

4月例会のご案内

と き:平成25年4月15日

と ころ:鳥取県立夢みなとタワー3階「夢みなとシアター」

内 容:講演会「クルーズ客船寄港の経済効果とビジネスチャンス」

講 師 境港管理組合 事務局長 小倉誠一氏

パネルディスカッション「クルーズ客船寄港としての発展に向けて」

担 当:第38期 チャレンジ委員会

編集後記

普段あまりプロ野球の中継など見ないのですが、ワールドベースボールクラシック(WBC)が始まってから何となく見るようになっていました。日の丸を背負って試合をするなんて想像もできませんが、その一員としてプレーしている選手たちはすごいプレッシャーだろうと思います。

自分も中央会の一会員としてがんばろう!

(松本基成)